

令和 7 年度

人間生活学研究科（博士前期課程）

問題・出題の意図・解答のポイント

小論文（学内推薦）

（文化学領域）

令和 7 年 1 月 11 日

高知県立大学大学院

小論文（文化学領域）

(100点)

問 人口減少、温暖化、災害など、課題を多く抱える高知県という地域の文化の今後の発展のために、従来の枠にとらわれない発想を大切にする必要があると思われる。多くの分野に浸透しつつあるAI（人工知能）をどのように活用すれば、高知県での生活や文化を豊かにすることが出来るか、具体例をあげて、あなたの考えを述べなさい。

【出題の意図】

高知県が抱える課題の解決策と生活・文化の発展においてAIをどのように活用することが出来るかについて、高知県に関する知識、論理的な思考力、文章表現力などを問うものである。

【解答のポイント】

1. 高知県における文化の課題と発展の可能性について把握していること。
2. AI（人工知能）の可能性と限界について論じていること。
3. 具体例をあげ、論理的かつ適切な表現を使って自らの考えを述べていること。